

グランドデザイン・大阪



「グランドデザイン・大阪」とは

大都市・大阪の「大きな方向性」を示しています

大阪は今、民間の力で大きく動き出しています。グランドデザイン・大阪は変化し、躍動する大阪の今後の方向性を、広く世界に発信するものです。また、府域全域の方向性を示す「将来ビジョン・大阪」にもとづき2050年を目標とする大都市・大阪の都市空間の姿を分かりやすく示します。あわせて、世界の大都市圏に人口が集中する傾向をとらえ、創造的な人材が集積し、住み、働き、楽しみたくなる魅力・環境を備えた大都市・大阪をめざします。

大都市・大阪の将来像

多様な価値を創造する大都市・大阪の実現

～圧倒的な魅力を備えた“都市空間”の創造～

- ・ 個別開発にとらわれることなく、ストック、ポテンシャルを活用し圧倒的な魅力があり、住み、働き、楽しみたいと思える都市空間をつくります。
- ・ 創造的な人材を集め、新しい産業の創造やクリエイティブな活動を生み出す都市の基盤をつくります。

➤ 強い大都市・大阪 ～国際競争に打ち勝つ～

- ◆ 若者を中心に国内外から人々をひき寄せ、人口を集積
- ◆ 広域インフラで都市圏を結合し、市場を拡大

➤ 便利で快適な大都市・大阪

- ◆ 利用者視点に立った利便性の高い交通システム
- ◆ 自動車を抑制し、都心部を人に開放する、歩いて楽しい都市

➤ 多様な人材が集積する大都市・大阪

- ◆ 職・住・学など、多様な機能が混合する知的創造を支える都市
- ◆ 大学や研究機関の集積と交流

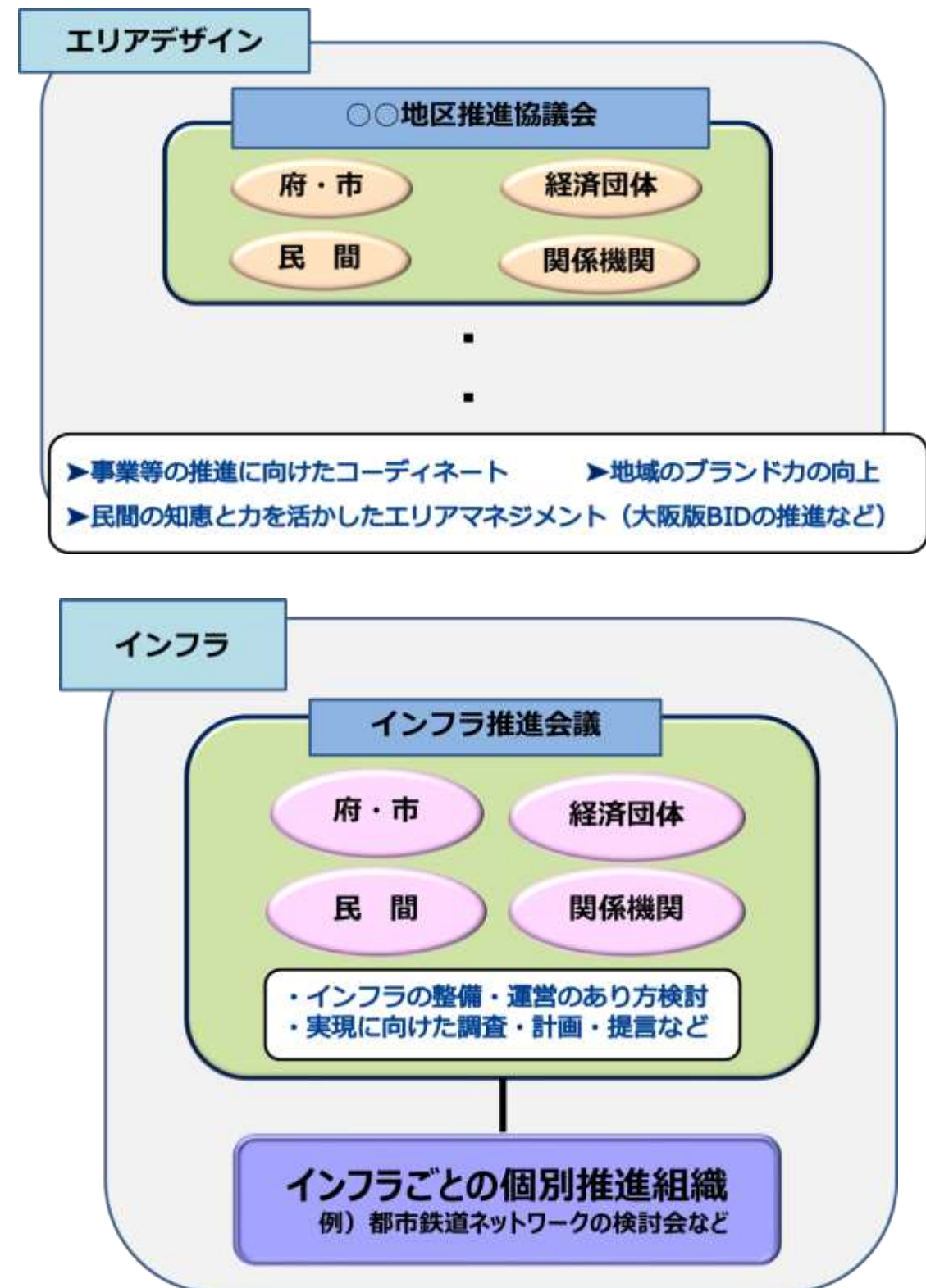
➤ 都市魅力あふれる大都市・大阪

- ◆ みどりや水辺など圧倒的な都市魅力と品格ある都市景観
- ◆ 歴史・文化を身近に感じ、働き、学び、遊び、暮らせる都市

➤ 安全・安心な大都市・大阪

- ◆ 安全・安心で、首都機能をも代替し得る都市

② 民間との事業推進組織 (オール大阪体制)



※BID (Business Improvement District)

都市の再生、地域の活性化に向けた事業を進めるため、地域の合意を基礎として設立される都市経営組織。負担金や公共空間等の活用により独自の財源を持つ。①組織運営、②プロモーション、③デザイン、④経済活性化を包括的に実施するルール・資金等を含んだ総合的の制度。

安全・安心都市の実現に向けて



阪神・淡路大震災



東日本大震災



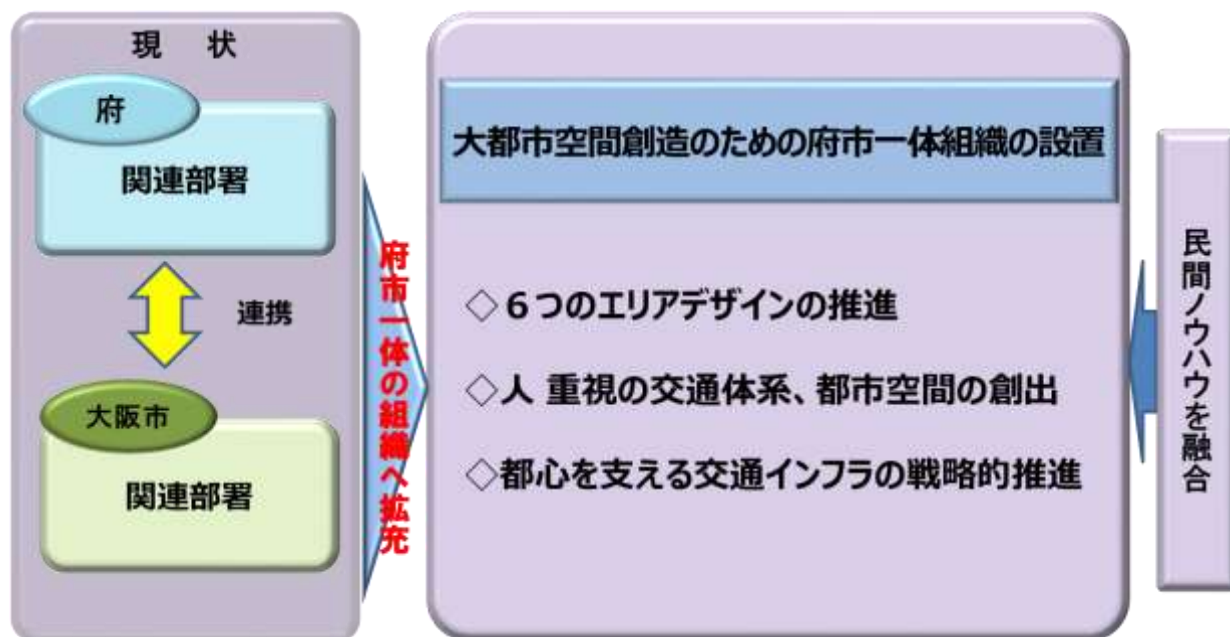
紀伊半島・大水害
(H23年・台風12号)

■安全・安心都市 ～しなやかな都市構造の実現に向けて～

- ◇地震・津波や風水害などの被害最小化（減災対策）
- ◇防災拠点機能の充実、災害対応力の強化
- ◇首都機能のバックアップ、国土構造のデュアル化

グランドデザイン・大阪の推進体制

①府・市一体となった推進体制の構築



仕組みのグレート・リセット

「行政主導」ではなく「民間主導」

- ・需要（利用）者側の視点からの取り組み
- ・行政の一律規制の弾力的な見直し
- ・象徴的エリアのデザインは、行政が決めるのではなくエリアを熟知する民間等を主体に進める

「府市バラバラの発想」からの脱却

- ・インフラは、府市それぞれ、供給主体ごとの狭い視点ではなく、強い大阪に向け、広域でトータルに実行

「段階的」に実行する都市空間の創造

- ・民間の費用、収益を回転させ、次の投資に活かす循環する仕組みづくり

ハードのグレート・リセット

みどりを圧倒的に増やす

- ・通過交通を極力排除し、都心に圧倒的なみどりを！
- ・圧倒的なみどりを都心部から周辺山系までつなぐ！

水を綺麗によみがえらせる

- ・川の水を水都大阪として誇れるレベルに！
- ・水と親しめる空間を創出！

街並みを美しく生まれ変わらせる

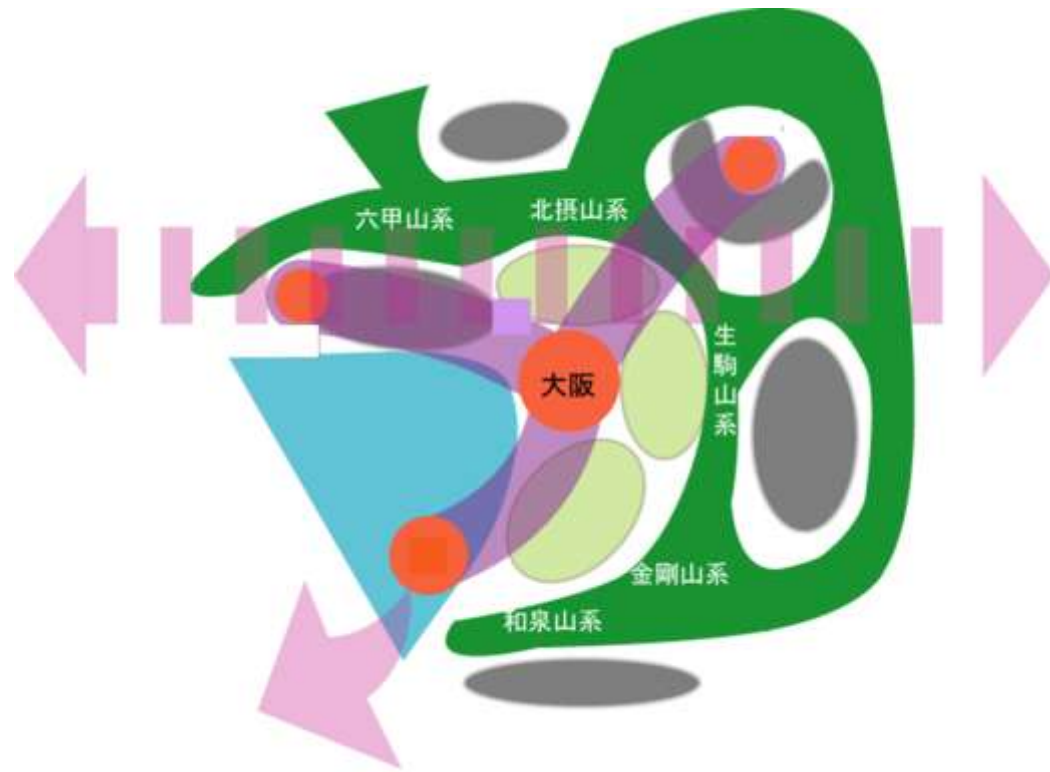
- ・景観を妨げる電線類を地中化！
- ・高速道路の撤去・地下化！

INDEX

- 「グランドデザイン・大阪」とは
- 大都市・大阪の将来像
- 仕組みのグレート・リセット
- ハードのグレート・リセット
- 大阪大都市圏の中核をなす大阪都心部
- 大阪らしいポテンシャルとストックを持つ象徴的なエリア
- 各エリアのポテンシャルと取組み
 - 新大阪・大阪エリア
 - なんば・天王寺・あべのエリア
 - 大阪城・周辺エリア
 - 夢洲・咲洲エリア
 - 御堂筋・周辺エリア
 - 中之島・周辺エリア
- インフラ活用・整備
 - 環状道路で通過交通を迂回処理
 - 都心部の公共交通網の充実
 - 高速道路ミッシングリングの解消
 - 鉄道ネットワークの充実
 - インフラ運営の仕組みの転換
- 「安全・安心都市の実現に向けて」
- グランドデザイン・大阪の推進体制

大阪大都市圏の中核をなす大阪都心部

関西を視野に入れた大都市圏において、大阪都心部はその中核を担います。



大阪らしいポテンシャルとストックを持つ 象徴的なエリア



◇鉄道ネットワークの充実

- 関西国際空港との連絡強化
(なこ筋線、四つ橋線、新大阪連絡線等)
- 都心部の公共交通網充実
(LRT、終電延長、乗継ぎの利便性向上等)
- 環状交通の重視
(モノレール延伸等による地域間の連携)
- リニア中央新幹線の早期実現
(東京～名古屋～大阪間の同時開業)

など



◇インフラ運営の仕組みの転換

- 高速道路の一体的運営 (ハイウェイ・オーソリティー)
 - ・ 料金体系の一元化 など
- 鉄道の一体的運営、相互乗入れ
 - ・ 初乗り運賃など料金体系改善
 - ・ ストックの活用、乗継ぎの改善
- 港湾管理一元化、機能強化
 - ・ 経営効率化、戦略の一本化
 - ・ コスト低減、手続きの簡素化
 - ・ 国際コンテナ戦略港湾の取り組み
- 関西国際空港の充実・強化 (経営統合・コンセッションの実施*)
 - ・ 財務構造の抜本改善 (空港運営の効率化、収益力の強化など)
 - ・ コスト競争力の強化 (着陸料の引き下げ等)
 - ・ 空港機能の強化 (航空会社拠点化、貨物取扱機能強化、鉄道アクセス改善等)

* コンセッション：空港の長期の事業運営権を民間事業者等へ売却する方式

◇環状道路で通過交通を迂回処理

- 大阪都市再生環状道路の整備、活用
- 阪神高速道路環状線、都心部周辺平面道路などの活用
- 都心部の高速道路の地下化・撤去



◇都心部の公共交通網の充実

- LRT導入（都市魅力の向上にも貢献）
- 終電延長、乗継ぎの利便性向上等



◇高速道路ミッシングリンクの解消

- 国土軸との結節強化
 - ・新名神とアクセス、新大阪駅と高速道路の直結
- 環状道路の整備
 - ・関西大環状道路
 - ・大阪都市再生環状道路
- 物流体系の強化
 - ・名神湾岸連絡線など



各エリアのポテンシャルと今後の取組み

6つのエリアのポテンシャルと今後の取組みについて示します。

新大阪・大阪エリア



今後の取組み

短期	中期	長期
2015 (平成27年)	2025 (平成37年)	2050 (平成62年)

<短・中期>

>うめきたと周辺のみどり化

- ・地区運営組織によるにぎわい創出
- ・大阪駅空中カフェの実現
- ・駅南側から御堂筋へのみどりの形成

<中・長期>

>柴島浄水場用地の活用

- ・水道統合協議を踏まえた用地活用の構想
- ・淀川花火、夜景を活かした集客魅力向上

>新大阪・大阪の一体化

- ・淡路～新大阪～大阪に至る連絡鉄道

>リニア中央新幹線の早期開業

- ・強い大都市圏形成に欠かせないリニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪、同時早期開業

なんば・天王寺・あべのエリア



- ポテンシャル**
- 地形が感じられる坂道、みどり、寺町等大阪らしい風景
 - 都心のど真ん中にある動物園
 - 新世界のにぎわい、木津市場等食関連施設
 - 電気街、ポップカルチャー関連店舗の集積
 - 食・アミューズメント・ショッピング等が集積した、多様なにぎわいのミナミ など

世界（関空）と直結、大阪らしい食の文化とにぎわいを活かす

今後の取組み

<短期>

- ▶ **日本一の近鉄ビル・あべのハルカス**
・周辺施設と一体となったにぎわいの創出
- ▶ **世界一の都市型動物園をめざす天王寺動物園**
・生態的展示、緑陰都市を先導する魅力ある動植物公園

<短・中期>

- ▶ **難波駅前のみどり化**
・南海会館の建替えと併せた難波駅前のみどり化
- ▶ **なんば～あべの一体化**
・緑陰の道を通るLRT*でまちをつなぐ
・動植物公園を核として、エリア全体の魅力を高めるエリアマネジメント

* LRT : Light Rail Transit の略。低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システム

インフラ活用・整備

◇みどりの風を感じる大都市・大阪の実現

- **都心から周辺山系へとつながるみどりの都市軸の形成**
 - ・ 御堂筋のみどり化
 - ・ みどりの風促進区域の取組み強化
- **実感できるみどりの創出**
 - ・ 大阪の玄関口におけるみどり創出
- **親水空間の創造**
 - ・ 水の回廊（舟運）による集客拡充
 - ・ 府域河川における親水性の向上



※みどりの減災効果を活かし、災害に強いしなやかな都市構造を形成



中之島・周辺エリア



- ポテンシャル**
- 中之島をはじめとした水の回廊
 - 中之島公園を中心に展開している光のルネサンス
 - 国際会議場や国際級ホテル等のコンベンション機能の集積
 - 図書館、北浜レトロビル、川口教会等風格ある歴史的建築物
 - コンサートホール、東洋陶磁美術館等、文化施設の集積
- など

水都大阪のシンボル・歴史の豊かさ・コンベンション機能を活かす

大阪城・周辺エリア



- ポテンシャル**
- 大阪城の歴史文化
 - 大阪城公園のみどり豊かな環境
 - 中之島・大川・大阪城の濠等の水辺空間
 - 大規模ホール、音楽ホール、美術館、博物館、庭園、通り抜け等の文化施設
 - 国、府、警察、病院等中枢機能の官公庁の集積
 - 広大な旧砲兵工廠跡地
- など

大阪都心部最大のみどり・上町台地の地形を活かす

今後の取組み



<短・中期>

>水都大阪のシンボルアイランド化

- ・ライトアップの時間延長
- ・中之島緑道の回遊性向上
- ・水・みどり・光を活かす歩行者ネットワークづくり



>中之島西部地域の魅力向上

- ・中之島4・5丁目のにぎわいの創出
- ・国際会議場の活用
- ・歴史的建築物の再生、活用



<長期>

>鉄道アクセスの強化

- ・京阪中之島線の延伸



今後の取組み



<短期>

>大阪城公園と周辺のにぎわい創出

- ・周辺回遊性の向上



<短・中期>

>世界的観光拠点としての魅力向上

- ・梅・桜街道と水の回廊のネットワークづくり



>森之宮周辺の活性化

- ・成人病センター跡地活用の構想づくり具体化
- ・大阪城公園との一体化



夢洲・咲洲エリア



ポテンシャル

- 国際コンテナ戦略港湾
 - 国際戦略総合特区
 - 国際会議・見本市等のコンベンション機能
 - 複数の国際級ホテル
 - 大規模開発用地
 - 大規模テーマパーク
 - 天保山ハーバービレッジ (水族館、大観覧車等)
 - 天保山岸壁 (大型クルーズ客船入港)
- など

海の玄関口として、新エネルギー産業、国際観光エンターテインメントの誘致に活かす

御堂筋・周辺エリア



ポテンシャル

- 堺筋～御堂筋～四ツ橋筋のオフィス、ショップの集積
 - 大阪のシンボル・ストリートとしての風格、美しいイチョウ並木
 - 御堂筋イルミネーション、kappo等季節を感じるイベント
 - 三休橋筋の旧大中証券ビル等の近代建築の集積と無電柱化した綺麗な街並み
 - 道修町、神社、仏閣等、大阪の歴史と伝統の空気感漂う街並み
 - 船場、道頓堀等の地域活性化の市民活動
- など

御堂筋の空間再編など、大阪都心の顔としての魅力・集客力を活かす

今後の取組み

<短期>

> 物流機能の強化

- ・集荷機能の強化
- ・産業の立地促進による創荷
- ・民の視点による港湾経営主体の確立

<短・中期>

> 環境・新エネルギー産業の誘致

- ・スマートコミュニティ実証実験
- ・特区を活かした企業誘致
- ・防災体制の構築

> 国際観光エンターテインメント

- ・フェリー・クルーズ船の拠点化
- ・コンベンション等による集客

<長期>

> 鉄道アクセスの強化

- ・JR桜島線の延伸

今後の取組み

<短期>

> 御堂筋側道の歩行者空間化

- ・緩速車線の利活用 など

> 近代建築物の保全・活用

- ・用途転換、無電柱化 など

<短・中期>

> 堺筋～御堂筋～四ツ橋筋の魅力・景観向上

- ・景観のルール作り (高さ規制、ファサードの美化等)
- ・居住機能の充実 (滞在型施設の誘導など)
- ・御堂筋沿道のクオリティの高いにぎわい空間の形成

<長期>

> 全面みどり化

- ・環状道路整備にあわせた自動車交通の排除
- ・まちの魅力をつなぐLRT